



## 小学部

1月の生活単元学習では、1・2年生はすごろくや福笑い、羽根つきなどの昔ながらのお正月あそびを楽しみました。凧や羽子板は、それぞれ好きな色や模様を付けたオリジナルです。中でも一番人気は凧あげです。広いグラウンドで、先生に凧を持ってもらって、息を合わせて走り始めます。うまく上がらなくても「もう1回!」。うまく風に乗ると、上手に凧糸を操りながら、高く舞い上がる凧を嬉しそうに見上げていました。



3・4・5年生は、餃子の皮を使ったミニピザづくりをしました。2～3種類のソースやトッピングから自分で好みの味を選び、餃子の皮にのせていきます。初めはうまく真ん中にのせられませんでしたでしたが、回を重ねるごとにきれいな仕上がりになってきました。「今日は何味にしようかな。」と組み合わせを工夫しながら自分で作ったピザは格別で、みんな「おいしい!」とニコニコ笑顔でした。



## 中学部

12月3日(火)、平田中学校で、第2回交流会を行いました。今回は、それぞれの学校での学習成果を発表したり、風船バレーを通して楽しく活動したりしました。事前学習で手紙を書いて当日渡したり、相手の名前や好きなことを覚えてコミュニケーションとったりして、楽しい時間を過ごしました。今年度は今回で終わりとなってしまいますが、また来年交流できることを楽しみにしています。



1月14日(火)、海津市赤十字奉仕団の出前講座を受けました。12名の方が来校してくださり、地震の時に室内で簡易に使える「新聞スリッパ」の作り方を学びました。また、日本赤十字社の岐阜県支部の方から日赤の活動や献血の大切さを紹介いただきました。



## 高等部



1月17日(金)各学年様々な場所へ校外学習に行きました。

1年生は海津市内の観光地や文化遺産を巡り、海津市が発行している文化遺産カードを集めました。「円満寺山古墳、松山諏訪神社の大クス、羽根谷砂防堰堤、道の駅月見の里南濃、千代保稲荷」と魅力あふれる海津を実感し、郷土への思いを新たにしました。2年生は、余暇を楽しんだり公共交通機関を利用したりできることを目的に、自宅や学校近くの駅やバス停から「イオンタウン大垣」を目指しました。事前学習で調べ、計画した通り、映画を鑑賞したりフードコートで昼食をとったりして楽しみました。3年生は、岐阜羽島駅から名鉄電車に乗って、中部国際空港セントレアに行きました。セントレア内では、仲間と案内看板を見ながら飛行機の展示会場や昼食場所に行くなど、協力して進んでいく姿にたくましさを感じました。



普段と違う環境の中でしたが、どの生徒も楽しみながら学習することができました。



### 【お知らせ】

※ ライオンズクエストアクティビティ児童生徒作品展・作業学習製品販売会

作品展日時：2月15日(土)～25日(火) 10:00～21:00(最終日のみ16:00まで)

販売会日時：2月15日(土) 10:30～12:30

場 所：イオンモール大垣店1F (H&M前特別展示場および太陽の広場)

※ 本校ホームページ (<https://school.gifu-net.ed.jp/kaizu-sns/>) をご覧ください。

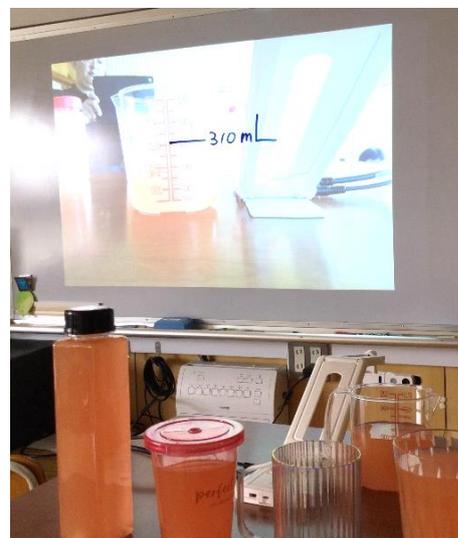
## 各活動でのICT機器等の活用

### 【集団学習でのICT機器】

ICT機器というと、多くの方はタブレット端末やパソコンを思い浮かべます。しかし、学校にはタブレット端末以外にも様々なICT機器があり、それらを活用して学習や活動を進めています。

右の写真は、高等部の数学の授業の様子です。数学では、個別で学習を進める場面と集団で学習を進める場面があります。集団で学習を進める場面では、学びの視点を共有し、考えを伝え合ったり、わかったことを確認し合ったりすることが大切になります。

そのため、授業プリントや具体物を書画カメラを通してプロジェクターでホワイトボードに拡大投影しています。容積(かさ)を量る場面では、書画カメラで計量カップをホワイトボードに拡大投影しました。生徒一人が容器から移した色水の容積を示す目盛りを全員で共有し、ホワイトボードに印を付けて確認することで、一人一人が正確に読み取ることを目指しました。書画カメラを活用することで、仲間と同じ場面や同じ事象を共有し、一緒に考えること、確認することができています。



### 【学習アプリ等の活用】

学校での学習や活動では、様々なアプリを利用しています。

音楽では、取り込んだ曲の速さや音程を自由に変化させて再生することのできるアプリを活用しています。このアプリを活用することによって、曲をゆっくりとした速さで再生することができます。児童・生徒が自信を持った段階で、少しずつ通常の再生速度まで速め、着実に演奏技能を培っていくことができるので、安心して楽器演奏に取り組めるようになりました。

右の写真は漢字の練習アプリを用いて、漢字の書き取り練習をしている様子です。このアプリにはヒントアイコンが位置付いており、自信のない時にこのアイコンを押すと漢字の全体像を薄字で示してくれます。また、書き順や運筆を間違えた際には、アニメーションで正しい書き順や運筆がすぐに示されるため、その場で間違いに気づくと同時に、正しい書き方を学ぶことができます。繰り返し取り組む中で、少しずつ漢字を覚えたり書き取ったりすることができるようになっていきます。

また、タブレット端末のAR拡張機能を活用したフィットネスアプリも活用しています。このアプリは、自分の身体の動きを読み取り、タブレット端末のカメラでモニターに写すことができるアプリです。モニターには次々に的が現れ、的に触るように、自分の身体を動かしていきます。何度も続けて的に触ると高得点を取得できます。的を見て動く方向を判断し、自分の身体を動かす活動が続ける中で、適切に動かす力が高まってきています。



### 【卒業後に向けて】

キャッシュレス決済の普及や生成AIの発展等、私たちを取り巻く情報社会の変化は著しいです。どの職場でも、当然のようにパソコンでの業務が求められます。情報では、社会に出る生徒たちが、パソコンを使った業務に自信をもって携われるよう、ワープロソフトや表計算ソフト、プレゼンテーションソフトの基本操作の学習を行っています。

